



株式会社ベスプラ

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-18-10 エクサスペース 3C

E-mail : info@bspr.co.jp

プレスリリース カテゴリー: [活動報告]

2019年10月発信

報道関係者各位

認知症予防のアプリ、厚生労働省「知財戦略策定支援」に採択

～認知症の早期発見・重症化予防サービスの医療機器申請に向けて知財を強化～

株式会社ベスプラ（社長：遠山陽介、以下：ベスプラ）は、『脳にいいアプリ』をベースとした認知症の早期発見および重症化予防アプリ・サービスの開発・医療機器申請を計画しております。このたび、本取り組みが、厚生労働省「技術シーズに対する知財戦略策定支援」に採択されました。これにより、弊社は認知症の早期発見および重症化予防に対するアプリ・サービスの知財戦略を強化して参ります。

■背景

認知症患者数は2025年には730万人まで増加すると発表され(※1)増加の一途を辿っています。認知症は医療課題として「専門医不足(※2)」や「現在の薬の有効性が低い(※3)」ことなどが挙げられ、医療現場におけるICTの活用で認知症の早期発見や予防・改善に役立つことが期待されています。

■認知症予防に向けた脳の健康維持アプリ『脳にいいアプリ』の研究活動および効果

『脳にいいアプリ』は、2017年2月にリリースして以来、「認知機能検査」「脳MRI分析結果」「運動・食事・脳トレ等の活動」の複合的分析とパーソナライズした介入を行い、改善を繰り返した結果、『認知機能検査の向上』と『全体の96%に脳の灰白質が増加』の2つの効果が得られました。

■認知症予防アプリを医療機器として申請・知財強化

ベスプラは、上記アプリをベースに『医者・患者・家族・介護』を繋げ、認知症に対して医療現場の負担を軽減させるサービスを医療機器として申請する取り組みを計画しています。今回の厚生労働省「知財戦略策定支援」のレポートを基に、本件における知財戦略を強化して参ります。また、今後、本件における事業シナジーのある企業などに出資を募り、治験・開発・申請等の活動を実施して参ります。

『脳にいいアプリ』: <https://www.braincure.jp>

※1: 厚生労働省／「新オレンジプラン（平成27年1月27日）」より

※2: 認知症専門医は約3000人弱と言われており、認知症専門医以外では認知症の診断が困難

※3: 2018年フランス政府は既存薬4種を保険適用外と判断した

<当サービスの狙いと今後>

認知症の発症率を減少させ、よりよい未来の為に精進して参ります。今後は、当サービスのデータを分析し、認知症予防研究に役立て、日本のみならず世界へ認知症予防に効果的な活動を普及して参ります。

<会社概要>

社名：株式会社ベスプラ

URL：http://www.bspr.co.jp

設立：2012年4月2日

事業内容：ITサービス事業、システム開発事業

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ベスプラ 担当：遠山（トオヤマ） E-mail：y.toyama@bspr.co.jp

【図 1. 認知症予防総合サービスイメージ】



【図 2. 認知症予防に向けた脳の健康維持アプリ『脳にいいアプリ』】



【図 3. 医療機器アプリの活用全体イメージ】

